



あたらしく、知多らしく。

梅香る わたしたちの緑園都市

令和8年6月8日（月）

知多市報道発表資料

市民協働課

担当：協働まちづくりチーム 岡本
(0562-31-0382)

知多市の職員向けに「やさしい日本語」研修を実施

知多市内では、2700人を超える41カ国の外国籍市民が生活しています。生活や仕事のために市役所へ来庁する外国籍市民が増えている中で、職員が外国籍市民に寄り添い、適切な対応ができるよう、知識やスキルを身に付けるための研修を実施します。

1 日時・場所

6月16日（火）午後2時～4時

知多市役所1階 多目的会議室

2 講師

名古屋出入国在留管理局 在留支援部門

統括審査官 福山 裕紀（ふくやま ゆうき）さん

上席入国審査官 荒深 友理（あらか ゆり）さん

入国審査官 大橋 秀知（おおはし ひでとも）さん

高台に避難してください。



高いところに 逃げてください。

▲「やさしい日本語」の例

3 参加者

知多市職員 42人

4 内容

外国籍市民に窓口や電話などで接する際、やさしい日本語で対応するスキルを身に付けます。会話や書き言葉のポイントをまとめた講義と、グループワークを通じて、現場で対応できる知識を習得します。

5 「やさしい日本語」について

「やさしい日本語」とは、普段使われている日本語を外国人にもわかるように配慮した、簡単な日本語のことで、常に決まった一つの正解があるわけではありません。やさしい日本語を活用することで、翻訳・通訳が不要となり、効率よく情報を伝えることができます。

わかりやすい、平易な言葉遣いや表現は、外国籍の方だけでなく、子どもやお年寄り、障がいを持つ方にとっても有効とされる、これからの社会に必要な共通言語です。